

2023年9月期 第2四半期

決算説明会

2023年5月12日（金）

証券コード：9438



本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

■ 目次

■ P.01 2Q決算概要

- 02 決算ハイライト
- 03 連結PL
- 04 連結販管費内訳
- 06 2Q業績予想との差異
- 07 通期業績予想の修正
- 08 セグメント別業績

■ P.20 3Q以降の取り組み

- 21 FY2023基本方針と重点課題
- 22 クラウド薬歴
- 24 母子手帳アプリ+子育てDX
- 31 学校DX事業
- 34 中期的な収益イメージ

■ P.36 付属資料

- | | |
|---------------|------------------|
| 37 FY2023業績予想 | 42 主なヘルスケアサービス一覧 |
| 38 連結BS | 43 ヘルスケアサービス全体像 |
| 39 連結PL推移 | 44 クラウド薬歴 |
| 40 連結販管費推移 | 47 母子手帳アプリ |
| 41 セグメント別事業 | 48 学校DX事業 |

2Q決算概要

2023年9月期 第2四半期の決算概要についてご説明します。

決算ハイライト

1 営業利益は減益、業績予想を下回る 主因：法人向けDX支援事業の赤字案件

- ・売上高： 13,631百万円（前年同期比+655百万円、業績予想比+931百万円）
- ・営業利益： △18百万円（前年同期比△617百万円、業績予想比△218百万円）
- ・経常利益： 187百万円（前年同期比△105百万円、業績予想比+187百万円）

2 通期業績予想を修正（営業利益のみ下方修正）

- ・売上高： 26,800百万円（前回予想比+800百万円）
- ・営業利益： 200百万円（前回予想比△600百万円）
- ・経常利益： 400百万円（前回予想据え置き）

3 ヘルスケア事業と学校DX事業：計画通り収益改善 その他事業：法人向けDX支援事業の赤字案件対応続く 今期中の収束対応進める

Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

2

決算ハイライトです。

上期の業績について、営業利益は減益となり、業績予想を下回りました。主因は、法人向けDX支援事業の赤字案件によるものです。

連結売上高は、前年同期比 5.1%増の136億3,100万円となり、営業利益は、マイナス1,800万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、マイナス3億2,600万円となりました。

上期業績予想と実績との間に差異が生じたこと、および足元の状況を鑑み、通期の業績予想を修正します。

売上高は、前回予想から8億円増の、268億円、営業利益は、前回予想から6億円減の2億円とし、経常利益は、前回予想を据え置きます。

上期の主な取り組み実績としては、それぞれ次のとおりです。

ヘルスケア事業および学校DX事業においては、計画通りに収益改善が進んでいます。

その他事業においては、法人向けDX支援事業の一部における赤字案件の今期中の解決に向け、現在対応中です。

それぞれの具体的な取り組み内容については、後ほどご説明します。

連結PL

売上高：増収、利益：減益

(単位：百万円)

	FY2022 2Q	FY2023 2Q	前年同期比		
			金額	増減率	
売上高	12,975	13,631	+655	+5.1%	1Q: 動画配信の スポット売上計上
売上原価 (原価率)	3,814 29.4%	4,481 32.9%	+666	+17.5%	1Q: 動画配信の スポット売上原価計上
売上総利益 (利益率)	9,160 70.6%	9,150 67.1%	△10	△0.1%	
販管費 (販管費率)	8,561 66.0%	9,168 67.2%	+607	+7.1%	・外注費の増額 (学校DX事業) ・広告宣伝費の増額 (AdGuard)
営業利益 (利益率)	599 4.6%	△18 -%	△617	-%	
経常利益 (利益率)	292 2.3%	187 1.4%	△105	△36.1%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (利益率)	123 1.0%	△326 -%	△449	-%	1Q: グループ会社間の 株式異動に伴う法人税 計上

Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

3

連結PLについてご説明します。

売上高は、前年同期比で5.1%増の136億3,100万円となりました。

コンテンツ事業において、有料会員数が減少している一方、子会社のビデオマーケットでの動画配信のスポット売上計上のほか、オリジナルコミックやセキュリティ関連アプリの好調、および、ヘルスケア事業や学校DX事業が順調なことから、全体で増収となりました。

売上総利益については、主に企業向けDX支援事業の一部において、売上原価が増加したことにより、前年同期比横ばいの91億5,000万円となりました。

営業利益については、広告宣伝費、外注費の増加を主因とする販管費の増加により、マイナス1,800万円となりました。

経常利益については、持分法投資利益1億7,400万円を計上したことにより、1億87百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、特別利益に持分変動利益として1億3,900万円を計上しましたが、2022年10月に実施したヘルスケア事業におけるグループ会社間の株式異動に伴い、法人税等を計上したことから、3億2,600万円の損失となりました。

連結販管費内訳

広告宣伝費・外注費：増加

(単位：百万円)

	FY2022 2Q	FY2023 2Q	前年同期比 金額	増減率	
販管費総額	8,561	9,168	+607	+7.1%	
広告宣伝費	758	1,016	+258	+34.1%	AdGuard向け 販促費の増加
人件費	3,835	3,947	+111	+2.9%	
支払手数料	1,538	1,491	△46	△3.0%	
外注費	885	1,059	+173	+19.6%	ソフトウェア 資産計上の厳格化 (学校DX事業)
減価償却費	633	591	△42	△6.7%	
その他	909	1,062	+152	+16.8%	

販管費の内訳については、記載のとおりです。

(ご参考) 母子モ(株)株式の売却益に対する法人税関連の決算処理**単体決算** 当期純利益は1,096百万円のアップ要因

子会社株式売却益： 1,579百万円

法人税等： 483百万円

連結決算 当期純利益は△483百万円のダウン要因

株式譲渡益： 0百万円（連結消去）

法人税等： 483百万円（法人税等調整額の計上を行わない）

当期純利益の主な減益理由である「法人税等」の計上についての詳細は、ご覧の通りです。

当第1四半期において、グループ会社間の株式異動に伴う法人税を4億8,300万円計上しています。

2Q業績予想との差異

売上高：動画配信のスポット売上

営業利益：DX支援事業の赤字案件の対処（売上原価増加）、AI事業の受注減

経常利益：持分法投資利益の計上

親会社株主に帰属する四半期純利益：持分変動利益（特別利益）の計上

（単位：百万円）

	FY2023 1H		差異
	直近予想	実績	金額
売上高	12,700	13,631	+ 931
営業利益	200	△18	△218
経常利益	0	187	187
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△740	△326	+414

Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

6

上期における業績予想と実績との間に差異が生じたので、その理由についてご説明します。

売上高は、子会社のビデオマーケットにおいて、動画販売の好調を主因に、当初計画を上回りました。

一方、営業利益については、法人向けDX支援事業の赤字案件の対応が続き売上原価が増加したこと、子会社のAutomagiのAI事業の受注伸び悩みを主因に、予想を大きく下回って着地しました。

経常利益については、当初は持分法による投資損失を見込んでいたところ、関連会社の業績改善により、持分法投資利益を計上したことにより、当初予想よりも上回りました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益の上振れに加え、特別利益として持分変動利益を計上したことを主因に、当初予想よりも上回りました。

通期業績予想の修正

売上高：動画配信のスポット売上

営業利益：DX支援事業の赤字案件の対処（売上原価増加）、AI事業の受注減

経常利益：持分法投資利益の計上

親会社株主に帰属する当期純利益：持分変動利益（特別利益）の計上

（単位：百万円）

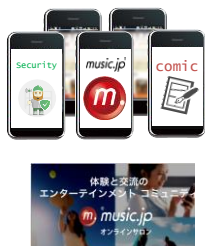
	FY2023		差異
	直近予想	今回予想	金額
売上高	26,000	26,800	+800
営業利益	800	200	△600
経常利益	400	400	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△600	△400	+200

下期は、上期の実績を踏まえ、また、法人向けDX支援事業における売上原価の増加、および、AI事業の受注の伸び悩みが続くことを鑑み、通期の連結業績予想において、売上高は上方修正、営業利益は下方修正、経常利益は据え置き、親会社株主に帰属する当期純利益については、上方修正をいたします。

セグメント別業績

コンテンツ事業

- ・コンテンツ事業
(エンタメ・ライフ系コンテンツ)
- ・オリジナルコミック事業



ヘルスケア事業

- ・女性向けヘルスケア事業
- ・子育てDX事業
- ・クラウド薬歴事業
- ・オンライン診療サービス 他



CHARADA 電子薬歴
Solamichi

学校DX事業

- ・学校DX事業

BLEND



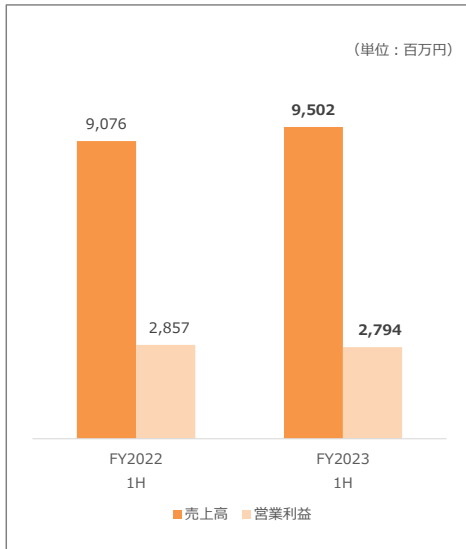
その他事業

- ・AI事業
- ・DX支援事業
- ・法人向けソリューション



続いて、セグメント別業績についてご説明します。

コンテンツ事業：売上高・営業利益



売上高増収、利益微減

＋：動画配信の
スポット売上計上（1Q）

－：有料会員数減少
広告宣伝費増加

Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

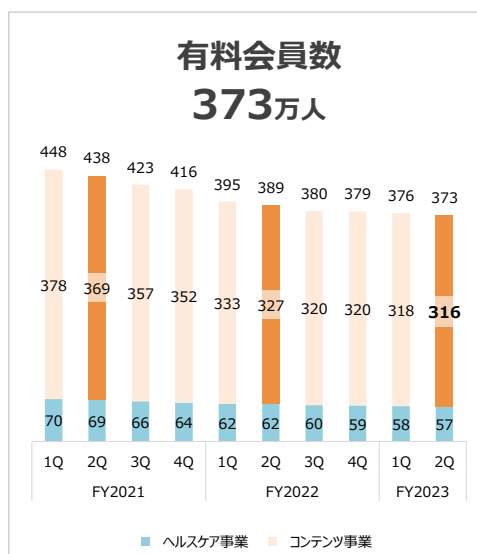
9

コンテンツ事業については、売上高は増収、営業利益は微減となりました。

子会社における動画配信のスポット売上を計上したことから前年同期比4.7%増加の95億200万円となりました。

営業利益は、動画配信のスポット売上計上に伴い売上原価が増加したことにより、前年同期比2.2%減少の27億9,400百万円となりました。

コンテンツ事業：有料会員数



※グラフは従来からの月額会員数集計方法に合わせ、ヘルスケア事業の月額課金モデルの有料会員数（レナルナ、カラダメディカ）を含んでいます。

Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

減少幅は縮小傾向

- ・ セキュリティ関連アプリ好調
- ・ 直前四半期比では横ばい

コンテンツ事業の有料会員数は、3月末時点で316万人と、直前四半期比で横ばいとなりました。

コンテンツ事業：セキュリティ関連アプリ

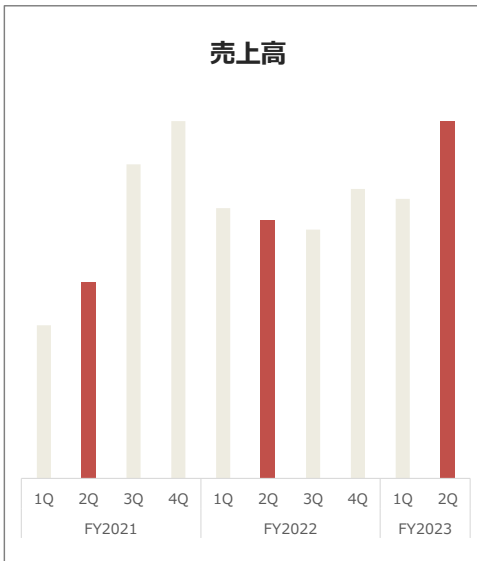


セキュリティ関連アプリ好調 57万人まで拡大



セキュリティ関連アプリの月額有料会員数は、3月末で57万人まで拡大しました。

コンテンツ事業：オリジナルコミック



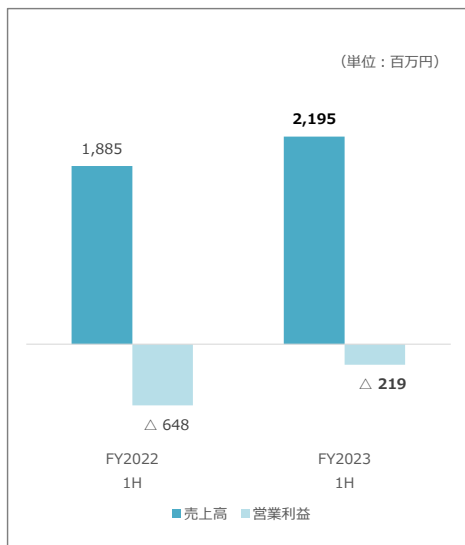
安定成長

**ヒット作品連載が寄与
作品投入数維持**

オリジナルコミック事業は、連載中の複数の作品がヒットしており安定成長に繋がっています。

特に当第2四半期においては、過去2番目に多い売上高を計上しました。ヒット作の2作品が1月から2月にかけてTVドラマ化したことで、ダウンロード数が伸長したためです。

ヘルスケア事業：売上高・営業利益



売上高増収、赤字縮小

+：クラウド薬歴順調

+：子育てDX好調

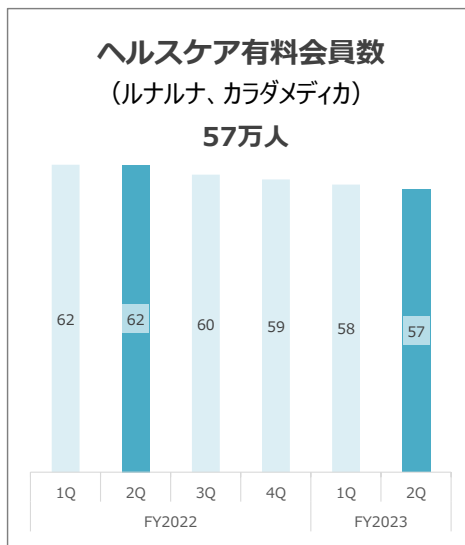
-：有料会員数減少

ヘルスケア事業については、売上高は前年同期比16.4%増の21億9,500万円となりました。

有料会員数が前年同期比で減少した一方、クラウド薬歴および子育てDX事業が順調に推移しました。

営業損失については、2億1,900万円となりました。先行投資に伴う費用負担が続いていますが、増収効果および費用の抑制により赤字は4億2,800万円改善しました。

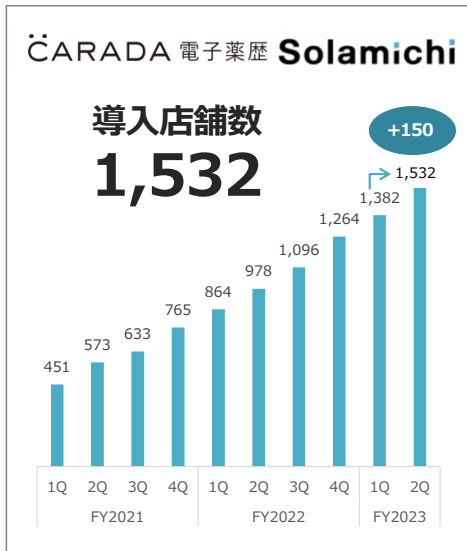
ヘルスケア事業：有料会員数



直前四半期比横ばい

ヘルスケア事業の有料会員数は、直前四半期比で横ばいの57万人となりました。

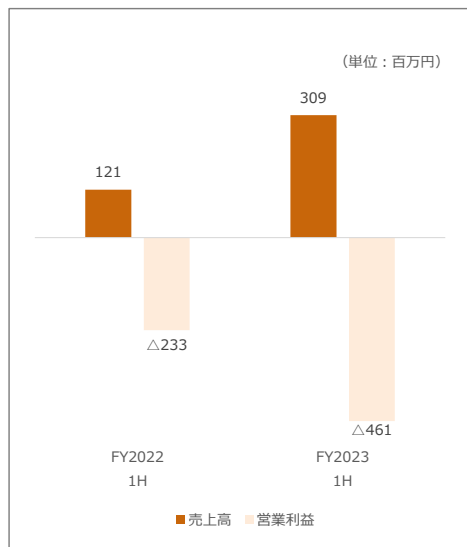
ヘルスケア事業：クラウド薬歴



導入店舗数、順調に拡大

クラウド薬歴事業における、導入薬局店舗数は、第2四半期で150店舗の純増となり、累計1,532店舗となりました。

学校DX事業：売上高・営業利益



売上拡大

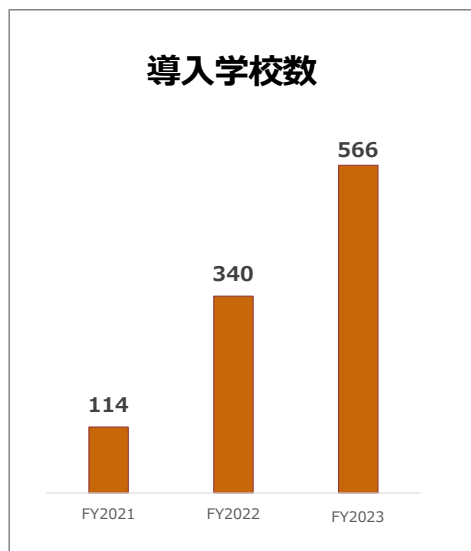
- ・ 前年同期比 + 155%
- ・ 導入学校数の増加

営業赤字

- ・ ソフトウェア資産計上を厳格化 (前期3Q～)
- ・ 受注急増対応の大規模先行投資

学校DX事業については、売上高は前年同期比155.1%増加の3億900万円となりました。

営業損失については、前期の第3四半期よりソフトウェア資産計上を厳格化しており、外注費が同水準で膨らんでいることにより、4億6,100万円となりました。



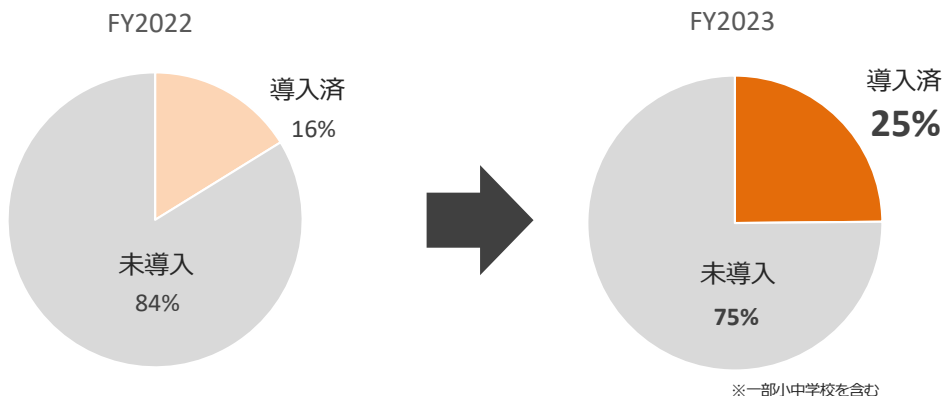
2023年4月からの 導入学校数拡大

- ・ 2023年10月導入の受注確定（26校）
- ・ 2024年4月導入の候補案件多数

クラウド校務支援システムへの需要が高まっている中で、BLENDの導入学校数は、3月末時点で前年同期比166.7%増の566校となりました。

4月の新学期からの利用に向け、3月は導入ラッシュとなりました。

全国私立高校のシェアは25%まで拡大



資料：文部科学省ホームページより当社作成

(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/main5_a3_00003.htm#topic1)

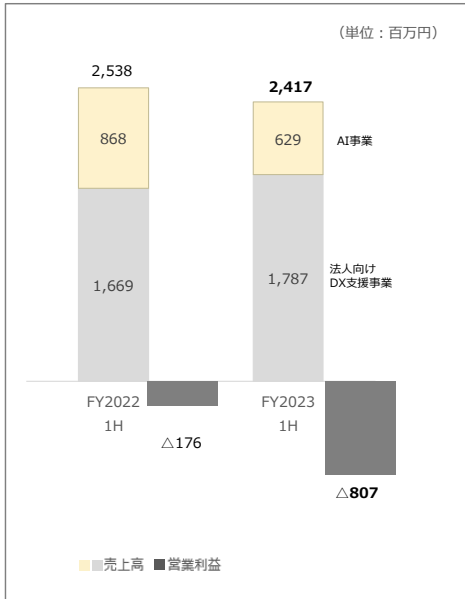
Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

18

全国の学校では、校務のデジタル化のニーズが高まっている状況が続いています。

子会社のモチベーションワークスのクラウド型校務支援システム BLENDは、様々な校務を行う教師の業務負担を軽減するのみならず、父兄への連絡や成績参照などが可能であることから、私立高校を中心に、学校の導入意欲が高く、全国の私立高校のシェアでは、25%まで拡大しました。

その他事業（法人向けDX支援、AI等）：売上高・営業利益



売上微減
・AI事業

営業赤字
・法人向けDX支援事業の一部で赤字案件対応

Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

19

その他事業については、売上高は、前年同期比4.8%減少の24億1,700万円となりました。

法人向けDX支援事業の売上高は増加した一方で、AI事業の受注量が減少したことによるものです。

営業損失は、8億700万円となり、赤字幅が拡大しました。法人向けDX支援事業の一部において、前期の第3四半期以降、売上原価が大きく増加しているためです。

同事業の赤字案件については、今期中の解消に向け、現在取り組んでいます。

3Q以降の取り組み

続いて、2023年9月期 第3四半期以降の取り組みについてご説明します。

FY2023基本方針と重点課題

1. ヘルスケア事業：さらなる売上成長

- ① クラウド薬歴事業のさらなる拡大
- ② 子育てDX『母子モ』のプラットフォーム戦略推進

2. 学校DX事業：さらなる売上成長

- ① 『BLEND』のバージョンアップ
- ② 4月の導入学校数拡大

3. コンテンツ事業：利益確保

- ① オリジナルコミック事業成長
- ② セキュリティ関連アプリ成長

4. その他事業：売上成長

(AI、DX事業)

- ① AI事業の拡大
- ② DX支援事業の拡大

Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

21

各セグメントにおいて、それぞれ次の基本方針のもと、重点課題に取り組めます。

・ヘルスケア事業では、引き続き、さらなる売上成長を目指していきます。具体的には、クラウド薬歴事業の更なる拡大に取り組むとともに、子育てDXのプラットフォーム戦略を推進していきます。

・学校DX事業においても、さらなる売上成長を目指していきます。

・コンテンツ事業においては、有料会員数の減少が緩やかになっていきますが、セキュリティ関連アプリ、およびオリジナルコミック事業の成長を通じて、セグメントでの全体の利益を確保していきます。

・その他事業においては、AI事業、DX支援事業の受注を伸ばすとともに、DX支援事業の赤字案件の解消について、取り組んでいきます。

調剤薬局と患者をつなぐ

クラウド薬歴

CHARADA 電子薬歴 Solamichi



Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

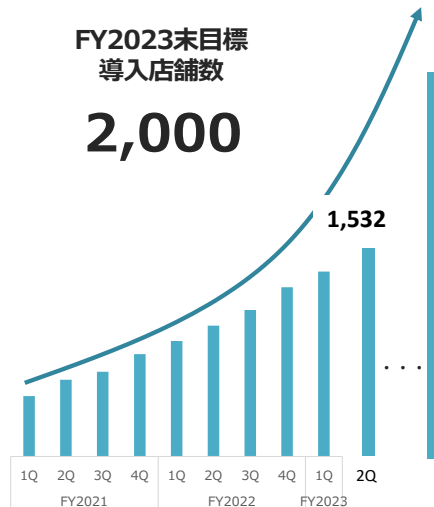
22

ヘルスケア事業における、クラウド薬歴事業の進捗についてご説明します。

ヘルスケア事業：クラウド薬歴

営業連携の強化と機能開発の強化を継続

CARADA 電子薬歴 Solamichi



①営業連携の強化を継続

- ・医薬品卸大手との協業
 メディパルホールディングス
 ⇒さらなる営業情報の共有と効率化



②差別化に向けた機能開発の強化を継続

- ・他店舗間薬歴連携機能
- ・在宅・介護向け機能
- ・加算ロジック、指導ナビ
- ・電子処方箋対応 他 随時追加予定

Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

23

クラウド薬歴事業では、調剤薬局の導入店舗数が順調に推移しています。

今期末の目標である「2,000店舗導入」の達成に向け、営業強化と機能強化のための開発を行っていきます。

営業強化については、前期に引き続き、協業先である(株)メディパルホールディングス様との営業連携を行い、きめ細かな営業情報の共有による効率化を図っていきます。

機能開発の強化も、引き続き、行っていきます。

具体的には、薬局の他店舗間での薬歴連携の機能、在宅・介護向け機能、加算ロジック、指導ナビ、電子処方箋対応 等の、機能を随時、追加・強化していきます。

ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

子育て世代と自治体・病院をつなぐ

母子手帳アプリ+子育てDX



Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

24

続いて、母子手帳アプリ『母子モ』と子育てDXサービスの進捗についてご説明します。



ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

母子手帳アプリ『母子モ』から始まる プラットフォーム事業展開

Phase 1：母子手帳アプリ『母子モ』

Phase 2：オンライン相談

Phase 3：子育てDXサービス

子育て事業の分野では、母子手帳アプリ「母子モ」、オンライン相談、子育てDXサービスにフェーズを分け、サービス展開しています。

ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

Phase 1, 2：母子手帳アプリ『母子モ』とオンライン相談



『母子モ』が母子手帳アプリのスタンダードに

Phase1 母子手帳アプリ

Phase2 オンライン相談



2023年3月末

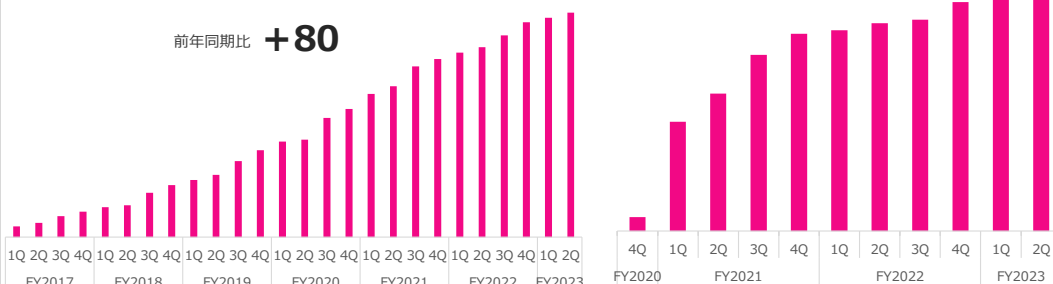
2023年3月末

522

前年同期比 +80

『母子モ』オンライン相談 成約数

70



Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

26

全国で1,741ある自治体の内、『母子モ』の導入済み自治体数は、3月末で522となり、母子モは、自治体の母子手帳アプリのスタンダードになっています。

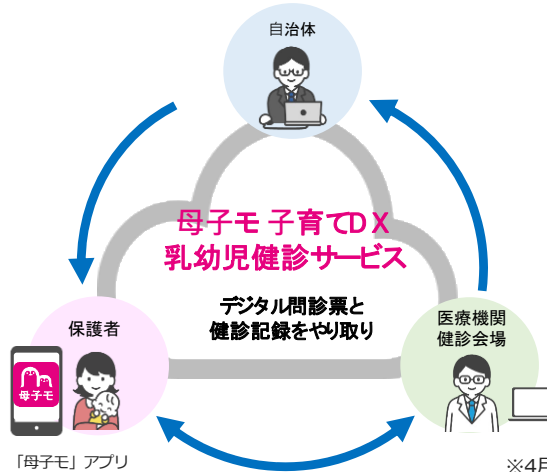
また、母子モを導入した自治体のうち、オンライン相談サービスも導入した数は、70までになりました。



ヘルスケア事業：母子手帳アプリ + 子育てDX

Phase 3：子育てDXサービス

母子手帳アプリのアドオン機能「質問票」「予約機能」の導入が急増
～1月開始の厚生労働省※「伴走型相談支援」が追い風に～



子育てDXサービス
導入自治体数

45

※4月1日から「こども家庭庁」に移管しています。

フェーズ3の子育てDXでは、保護者と自治体との関係のみならず、近隣の小児科や保健センターなどの医療機関ともデータ連携し、小児予防接種、乳幼児健診、乳児全戸訪問などの子育て分野のDXを推進しています。

「母子モ」を導入した自治体のうち、この「子育てDX」に関する機能を追加した自治体の数が、1月から3月にかけて急増し、累計導入自治体数は45となりました。

特に、今年1月に開始した厚生労働省の「伴走型相談支援」が追い風となり、質問票、予約機能を導入する自治体が増えました。

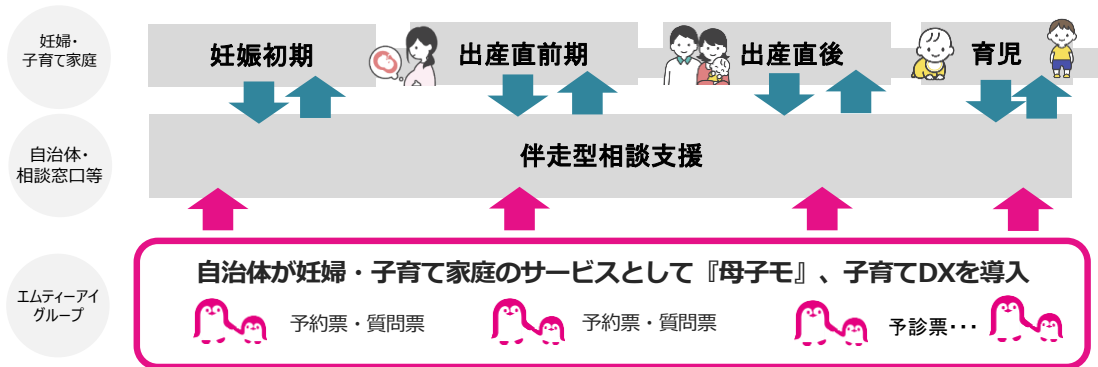
(ご参考) ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX



Phase 3：子育てDXサービス

伴走型相談支援とは：

2023年1月から開始した政府の妊娠・子育て支援サービス。妊婦や2歳くらいまでの子供がいる子育て家庭への支援のため、出産・育児の見通しを一緒に立てる。妊娠届時と出産間近、出産直後の計3回の面談、10万円相当のギフト券がもらえるだけでなく、地域の身近な相談機関とつながることで、安心して出産・子育てができる環境を整備する。



Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

28

政府による妊婦・子育て家庭への「伴走型相談支援」と当社グループの子育てDXサービスの関連性について、ご説明します。

伴走型相談支援とは、今年1月から開始した政府の妊娠・子育てを支援するサービスです。

妊婦さんや2歳くらいまでの子どもがいる子育て家庭への支援のため、出産・育児の見通しについて、自治体などの身近な相談機関が、相談に応じ、支援するものです。

具体的に相談回数が3回に設定されており、地域の身近な相談機関とつながることで、安心して出産・子育てができる環境を整備するものです。

当社グループの母子モ子育てDX支援事業ではさまざまな子育てDX支援サービスを自治体に提供しています。

予約票、質問票がこの伴走型相談支援を推進する機能であり、また補助金を活用するために、3月までにこれらのサービスを導入する自治体数が急増しました。



母子手帳アプリ+子育てDX

母子手帳アプリ+子育てDXのプラットフォーム化進む

Phase	1	2	3
サービス機能	母子手帳アプリ	オンライン相談	子育てDX ・小児予防接種（デジタル予診票等） ・乳幼児健診 ・乳児全戸訪問 ・質問票・予約票機能
料金	月額 5～10万円	+	月額 数万円 + 初期：数百万円～ 月額：数十万円～
導入自治体数 (全国の自治体数 1,741)	522	70	45

伴走型
相談支援
追い風

母子手帳アプリの導入によりその利便性を理解していただいた自治体が、次々と、子育てDXサービスの各機能を導入しています。

足元では、引き続き、質問票、予約票機能への引き合いが強い状況ですが、小児予防接種サービス、乳幼児健診サービス、乳児全戸訪問サービスなどその他の子育てDXサービスも好調に推移しています。

今後も、複数の子育てDXサービスを導入する自治体数を増やしていくことにより、子育てDXのプラットフォーム化を推進していきます。



(ご参考) ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

Phase 3：子育てDXサービス

子育て対策を早期に着手した自治体、 当社サービス導入により先行的なDXを推進

福岡県北九州市

妊娠届の電子化（アプリ）

- ・母子手帳交付の事前申請がアプリで可能
- ・アプリ経由での妊娠届提出、出生率の93%以上



千葉県市原市

小児予防接種のデジタル予診票

- ・導入医療機関でデジタル予診票利用進む
- ・予防接種間隔の確認作業、3分から数秒に短縮



当社の子育てDXサービスを早期に導入し、子育て分野でのDXを先行している自治体の事例をご紹介します。

まず、福岡県北九州市です。
北九州市では、2021年1月に母子モの母子手帳アプリを導入しました。
その後、2022年4月に北九州市と当社グループは連携協定を締結し、
妊娠届出機能、予約機能を随時追加し、市の子育てDXを推進しています。
アプリで妊娠届出が可能なので、保護者が役所に訪問する回数の減少、
作業負担の軽減ができます。

また、市役所の事務作業も、個人認証の手続きが簡便化し、その後の子育てに関する申請手続きも、簡略化するため、トータルでの作業効率も飛躍的に改善しています。

現在も、その他の機能追加の検討をいただいております。今後ますます、当社グループの子育てDX利用を通じて、北九州市の先進的な子育てDXをサポートすることが出来ると考えています。

続いて、千葉県市原市の事例です。
市原市では、既に複数の近隣の医療機関とデータ連携しており、デジタル予診票の利用が進んでいます。
予防接種は、0歳から6歳までの子ども、特に2歳までに多くの種類のワクチン接種が必要ですが、前回受けた日から一定の間隔をあける必要があります。

紙での事務作業の場合、この予防接種間隔の確認作業は、1件につき3分程度かかっていましたが、デジタル予診票では、一瞬でデータ照合が可能となり、自治体作業効率軽減と、保護者の待ち時間が短縮されるので、DXが進んでいる事例の一つです。

生徒と教師をつなぐ

クラウド型校務支援システム BLEND

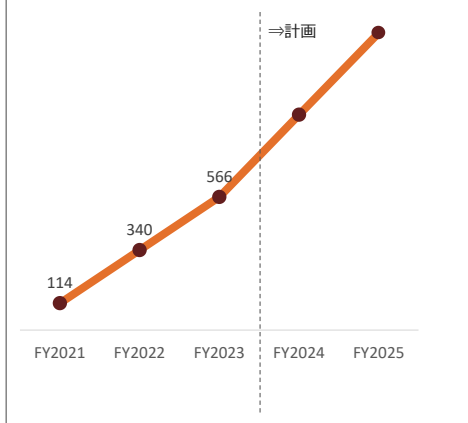


Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

31

続いて、学校DX事業について、ご説明します。

導入学校数の拡大イメージ

来期の導入学校数拡大へ

- ・ 2023年10月導入の受注確定（26校）
- ・ 2024年4月導入の候補案件多数

クラウド校務支援システムへの需要が高まっている状態が続いており、導入学校数の更なる拡大を計画しています。

4月の新学期までの導入を見送った学校についても、引き続きクラウド校務支援システムへの関心が高い状態ですので、今後も、積極的な営業活動を展開していくことにより、来年度までの導入に繋げていきます。

中期的な収益イメージ



来期の大幅赤字縮小に目処

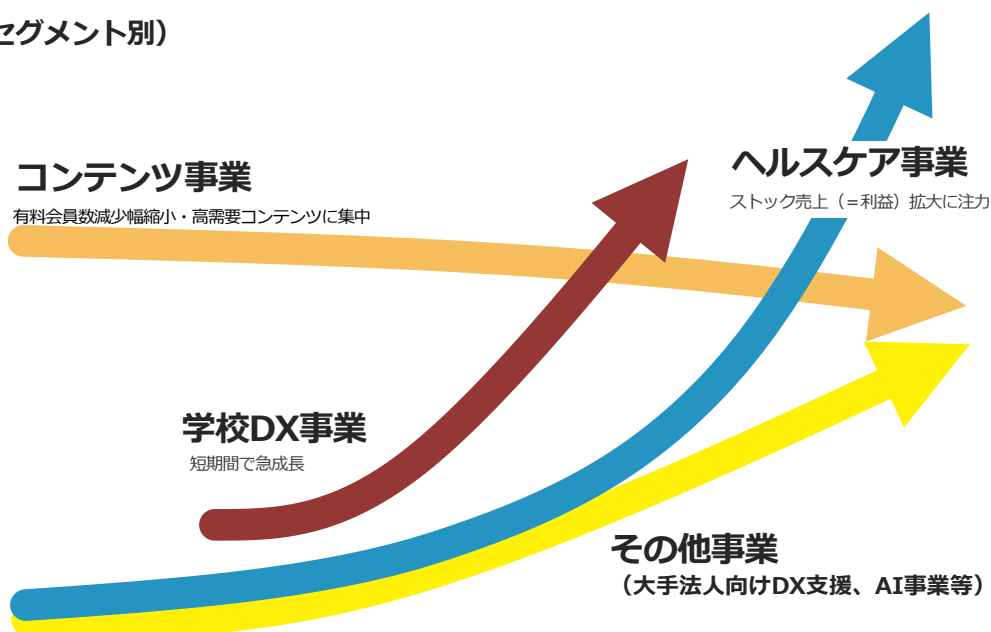
売上高：導入学校数の拡大

営業利益：1校当たり導入費用の大幅削減

学校DX事業は、導入学校数の拡大による増収効果と、新バージョン開発により今後の開発・運用費の抑制によって1校当たりの導入費用の大幅削減が期待できるものと考え、来期の赤字縮小に目処が立ち始めています。

引き続き、学校DX事業への積極的な取り組みを展開していきます。

中期的な収益イメージ (セグメント別)



Copyrights (c) 2023 MTI Ltd. All Right Reserved

34

中期的な収益イメージは、ご覧の通りです。

先行投資は当面続きますが、学校DX事業が最も早く事業成長が見込め、その後にヘルスケア事業が牽引していくと考えています。

当社グループ全体の、中期的な収益イメージは、資料のとおりであり、中長期的には、ヘルスケア事業が利益成長の牽引役となると考えています。

順調に拡大しているクラウド薬歴と、子育てDXに注力し、各サービスのストック売上の拡大を通じて、「持続的な成長」の実現を目指していきます。

ありがとうございました。



〈お問い合わせ先〉
株式会社エムティーアイ I R室
e-mail: ir@mti.co.jp
<https://ir.mti.co.jp>

ご説明は以上となります。
ありがとうございました。